

6年学力調査の結果報告

平成26年度全国学力調査（4月22日実施）

国語A（主として知識）		平均正答率		
		大北小	東京都（公立）	全国（公立）
評価の観点	関心・意欲・態度			
	話す・聞く	69.1	74.1	72.4
	書く	73.9	75	72.2
	読む	74.7	72.9	68.5
	言語	72.3	76.1	73.7
平均正答率		72.4	75.5	72.9

国語B（主として活用）		平均正答率		
		大北小	東京都（公立）	全国（公立）
評価の観点	関心・意欲・態度	37.5	35.3	34.4
	話す・聞く	52.6	53.7	51.2
	書く	37.5	35.3	34.4
	読む	60.2	58.8	57.3
	言語	71.6	71.6	69.8
平均正答率		57.9	57.2	55.5

算数A（主として知識）		平均正答率		
		大北小	東京都（公立）	全国（公立）
評価の観点	数量や図形についての技能	87	88.2	87.9
	数量や図形についての知識・理解	68.6	71.6	69.5
平均正答率		77.3	79.4	78.1

算数B（主として活用）		平均正答率		
		大北小	東京都（公立）	全国（公立）
評価の観点	数学的な考え方	53.1	50.9	47.8
	数量や図形についての技能	76.5	77.9	76.2
	数量や図形についての知識・理解	61.9	59.6	54.8
平均正答率		62.3	61.2	58.2

調査結果を踏まえた指導改善の方策

国語

調査の結果から、概ね全国平均を上回っています。しかし、知識と活用とを比べたときに、知識に関する内容で正答率が低い観点が見られます。特に「話す・聞く」の観点においては、東京都と比べると平均で5ポイント低くなっています。また、活用においては全ての観点で全国の平均正答率を上回っているものの、「話す・聞く」の観点だけが東京都の平均正答率を下回っています。

相手に聞きとってもらえるような話し方や大事なことを落とさずに聞く力を育てていくことに重点を置いた指導の充実をさらに図っていきます。

算数

調査の結果から、活用における「数学的な考え方」、「数量や図形についての知識・理解」の観点は全国の平均正答率を大きく上回っています。しかし、知識における2観点「数量や図形についての技能」、「数量や図形についての知識・理解」については東京都、全国の平均正答率と比べてやや下回っています。

少人数指導・習熟度別指導を通して、課題解決ができるような算数的活動を取り入れたり、様々な考えを出し合い、教え合ったりすることに重点を置いた指導の充実をさらに図っていきます。